

# エレクトリックアコースティックギター System70 取扱説明書

このたびは、ヤマハ トランスアコースティックギターをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。  
トランスアコースティックギターとは、ヤマハアコースティックギターに最適なエフェクトサウンドを本体から響かせて楽しむことができる、新感覚のアコースティックギターです。  
製品の性能を十分に引き出し、上手にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。なお、本マニュアルでは本製品の電装部のみを説明します。電装部以外の製品本体に関する説明については、別紙「アコースティックギター取扱説明書」をご覧ください。

## 仕様

●システム：System70 ●ピックアップ：オリジナルバーセンサー（ピエゾタイプ） ●コントロール：ラインアウトボリューム（TA スイッチ\*1 兼用）、リバーブエフェクト（ルーム/ホール）、コーラスエフェクト ●出力ジャック：エンドピン/ラインアウト電源スイッチ兼用\*2 ●出力インピーダンス：150 Ω ●電源：単三（アルカリまたはニッケル水素）電池× 2 本使用\*3 ●電源寿命：アルカリ電池で約10 時間（TA 機能使用時）\*4 ●付属品：ネック調整用六角レンチ× 1\*5

\*1 TA 機能はギター本来の音にエフェクト音を加え本体から響かせます。TA機能の電源がON になってからエフェクト音が出るまで約2 秒かかります。

\*2 プラグを挿すとライン出力できます。 \*3 性能を発揮させるためには、アルカリ電池、ニッケル水素電池をご使用ください。ニッケル水素電池を使用する場合は、電池の取扱説明書の指示をお守りください。 \*4 使用条件により異なります。 \*5 ネック調整機能付きのモデルに付属しています。

\* 本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。




## 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

### ■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。



### 警告

この表示内容が無視した取り扱いをすると、死亡や重症を負う可能性が想定されます。

### 分解禁止



この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

### 水に注意



本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

### 異常に気づいたら



下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電池を本体から抜く。

- ・製品から異常なおいや煙が出た
- ・製品の内部に異物が入った
- ・使用中に音が出なくなった

## 電池



電池を分解しない。



電池を火の中に入れない。



使い切りタイプの電池は、充電しない。



指定以外の電池を使用しない。



複数の電池を使う場合、同じメーカーの同じ種類、同じ品番の新しい電池を使用する。



電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れる。



長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体から抜いておく。



電池は子供の手の届くところに置かない。



電池を金属製のネックレスやヘアピン、コイン、鍵などと一緒に持ち運んだり保管しない。



電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。万一液が目や口に入ったり皮膚に付いたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師に相談してください。



## 注意

この表示内容を見逃した取り扱いをすると、障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

## 設置



不安定な場所に置かない。

## 接続



すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。

## 取り扱い



本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。



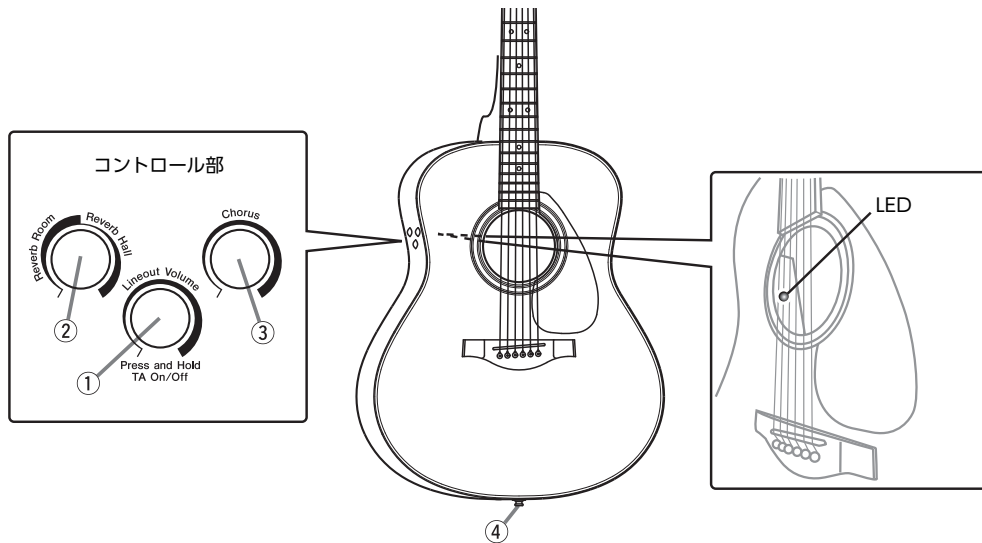
大きな音量で長時間イヤホン(ヘッドホン)を使用しない。

※ 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

※ 使用済みの電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

※ 接続するギターアンプなど外部機器の取扱説明書もよくお読みください。

## 各部の名称/コントロールの説明



### ① ラインアウトボリュームコントロール/TA スイッチ

ツマミを0.3 秒以上押すと、TA 機能の電源がON になります。出力ジャックにプラグを接続している場合は、ツマミを回すことでラインアウトの音量を調整できます。ツマミを左に回しきった状態で音量0 となり、右に回していくと音量が増していきます。

### ② リバースコントロール

リバースエフェクトを調整できます。ツマミを左に回しきった状態でエフェクトはオフになり、右に回していくとエフェクトの音量が増していきます。12 時付近でリバースタイプがルームからホールに切り替わります。

### ③ コーラスコントロール

コーラスエフェクトを調整できます。ツマミを左に回しきった状態でエフェクトはオフになり、右に回していくとエフェクトの音量が増していきます。

### ④ 出力ジャック/電池ホルダー

出力ジャックと電池ホルダーが一体となっています。内蔵されたプリアンプは、出力ジャックにプラグを差し込むと電源がON になります。

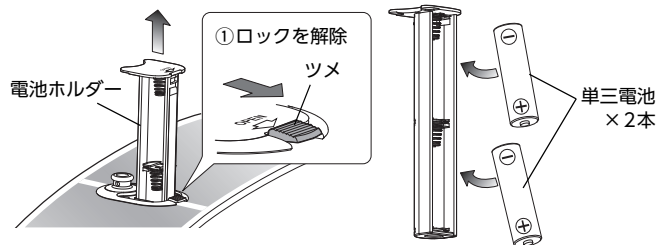
#### LED 表示内容

電池残量が少なくなると、ボディ内部にあるLED が赤色で点滅します。お早めに電池を交換してください。LED の点滅開始後、アルカリ電池の場合は約2 時間、ニッケル水素電池の場合は約1 時間後に電源がオフになります。(時間は使用条件により異なります。)

緑 LED	赤 LED	状態
点灯	点灯	TA 機能 ON、ラインアウト ON
点灯	—	TA 機能 ON
—	点灯	ラインアウト ON
—	点滅	電池警告

## 電池の準備

- ① エンドピン部のツメを図の矢印方向に押してロックを解除し、電池ホルダーを引き抜きます。
  - ② 電池ホルダー内部の極性表示に従い、単三電池2本を正しくセットします。
  - ③ ロックされるまで、電池ホルダーをエンドピン部に押し込みます。
- \* ニッケル水素電池を繰り返し使用される場合、電池の被覆や端子を傷つけないよう電池ホルダーへの挿抜は注意して行ってください。



## 操作手順

### ● アンプなどに接続せずに使用するとき (TA機能だけを使うとき)

リバーブまたはコーラスエフェクトをギターの生音に付加できます。

- ① TAスイッチを押して、TA機能の電源をONにしてください (ON時緑LED点灯)。
- ② リバーブコントロール、コーラスコントロールでエフェクトを調整してください。

\* エフェクトの音量が大きすぎるとフィードバックが発生することがありますのでご注意ください。

### ● アンプなどに接続するとき (エレクトリックアコースティックギターとして使用するとき)

エフェクトをかけたサウンドをライン出力できます。

- ① 出力ジャックにプラグを挿すことで、ライン出力が可能です (赤LED点灯)。
- ② ラインアウトボリュームコントロールで音量を、リバーブコントロール、コーラスコントロールでエフェクトを調整できます。

\* このとき、TAスイッチのON/OFF 操作により、本体からも同時にエフェクト音を出力するかどうかの選択が可能です。TAスイッチをOFFにしてもラインアウト出力のエフェクトはOFF になりません。

- ③ 出力ジャックからプラグを抜くと、電源がOFF になります (このとき、TA機能もOFF になります。)

### オートパワーオフ機能

30 分間何も入力がない場合、自動的にTA機能の電源がOFF になります。

\* プラグを挿している場合はオートパワーオフ機能は無効になります。

\* フィードバックが30 秒間発生した場合も、TA機能の電源がOFF になります。

## EQ調節モード

本製品には「EQ調節モード」が搭載されています。EQ調節モードとは、エフェクト音の中域を調節する機能で、音色に変化をつけたりフィードバックを低減させたいときに使います。

### EQ調節モードに入る

ラインアウトボリュームコントロール/TAスイッチを押したまま、ギターのボディー内側のLEDが点灯から点滅に変わるまで待ちます。(約5秒間)

### EQ調節モードを出す

- ラインアウトボリュームコントロール/TAスイッチを押したまま、ギターのボディー内側のLEDが点滅から点灯に変わるまで待ちます。(約5秒間)
- ラインアウトボリュームコントロール/TAスイッチを操作しないで約30秒経つと、EQ調節モードを出て、通常モードに切り替わります。

### エフェクト音の中域を調節する

ラインアウトボリュームコントロール/TAスイッチを回します。右いっぱいまで回すと変化がわかりません。左へ回していくとエフェクト音の中域成分を押さえる効果が強くなります。

### 設定の保存について

EQ調節モードの設定は自動的に保存されます。

### NOTICE

EQ調節モードに入った状態で出力ジャックのプラグを抜き差しすると、設定は保存されません。前回保存した設定のままとなります。

JA EN DE FR IT ES PT ZH-CN KO ZH-TW

© 2020 Yamaha Corporation  
Published 08/2025  
2025年8月发行  
IPHY-C0



VEZ2861

版次:R2